

【全体テーマ（講座のねらい）】

自己肯定感を高め、自他の存在（＝命）を大切にできる子どもを育てよう

＜具体的な目指す子どもの姿＞ **対象生徒は中学3年生・小学5、6年生**

- ◎ 支えられている・助けられていることへの感謝の気持ち（「ありがとう」）が持てる子
- ◎ 自分の好きなところや自慢できるところがあり、夢や目標を持って自分らしく前向きに生活できる子
- ◎ 性に関する正しい知識や選択力・判断力を身につけ、自他の幸せを考えた自己決定ができる子

生徒の意識の流れ

感動・学び・安心感⇒感謝

- ・母さんも父さんもすごい！精神力、責任感・想像以上！
- ・知ってるつもりだった。もっと知っていく必要が・・・
- ・望まれて生まれてきた命。だから傷つけてはいけない。そして自分自身の命も大切にします。

温かな心の気づき⇒自身の喜び、わたしらしさ

- ・お母さんはいつまでも自分の子どもを愛してるんだ。
- ・私がすること全部、全部、よろこんでくれた。
- ・私たちは一人じゃ生きられない。私もいつか自立する。

感謝・わたしらしさ⇒未来を生き抜く資質・能力

- ・相談に乗ってくれる大切な人、そんな人こそ大切に。
- ・大切なパートナーのことを全部知って、幸せになる。
- ・すぐ先のこと、ずっと先のことだから、確かな知識を得る。自立するために、今を大切に生きる。

第1回講座（5～6月）

中学3年生（第1～4回講座）

第2回講座（8～11月）

第3回講座（12月）

第4回講座（12～1月）

「命について考えよう」

「幼い命とふれあおう」

「幸せの性」

性感染症講話
「自分を大切にすることを覚える」

◎助産師による講話や命の体験学習を通して、自分が生まれた過程や意味を理解し、**かけがえのない大切な存在である事を実感し、自己肯定感をより高めることができる。**

◎乳幼児の託児体験や親との座談会を通して、**命の存在を体感すると共に、自分の命を支えてくれた親や周りの存在の大切さに気づくことができる。**

◎**命の重みを理解すると共に、「性交→妊娠→出産」の過程において自他の幸せを第一に考えた「自己決定」をするための正しい選択力や判断力を身につけることの大切さに気づくことができる。**

◎性感染症について理解すると共に、自分を大切にするとどういふことか考えることができる。

＜内容＞

＜内容＞

＜内容＞

＜内容＞

- 講話「命のはじまり」●お産劇（産道体験）
- 父母の言葉●実習「命の体験学習」
- ①妊婦体験、②胎児人形の説明、抱く体験
- ③赤ちゃん人形を抱く体験
- 【講師・支援団体】 ・PTA・妊婦
- ・下呂温泉病院助産師・市内外在住助産師

- 実習「乳幼児とのふれあい体験」
- 乳幼児保護者との座談会
- 1人の半世を追ったスライド
- 【講師・支援団体】乳幼児親子

- ①埼玉医科大学産婦人科医 高橋幸子先生のビデオから
- ②「中・高校生での交際の12段階」について意見交流（生徒対象）
- ③「幸せの性はどう生きるか」講話（スタッフの掛け合い）
- 【講師・支援団体】・学級担任・養護教諭

- 性感染症についての講話
- 【講師】・保健師

特別支援学級（中・主に知的学級）

- ① 「心と体の成長（性徴）」
- ① と ② 「タッチのルール」
- ① と ③ 「好きな人とのすてきな関係」

特別支援学校

発達段階に合わせて内容を検討して実施

小学6年生

「性の多様性」

◎性の多様性について知ることを通して、それぞれ違って良いことや、自分らしく生きることの大切さに気づくことができる。

＜内容＞講話【講師】チーム生きるスタッフ・元養護教諭他

小学5年生

「生命誕生」

◎受精の仕組みや生命誕生の神秘性に触れることや、出生について家族の思いを知ることにより、自他の生命を大切にしようとする意識や態度を身につける。

＜内容＞講話・体験等【講師】助産師

こども園・子育て支援センター

「プライベートゾーンについて」

◎性教育とは一人一人が大切な存在であることを学ぶことだと知る出発点となる。プライベートゾーンについて知り、自分の身を守る方法を学ぶ。

＜内容＞講話・体験等【講師】保育士・こども園担当看護師

【学校との連携】…各校養護教諭や学級担任及び市養教部会（小中学校部会）との協働推進体制

○日常の教育相談における児童生徒のケア（学習内容（点）を生かして、自己肯定感を高め、自己決定ができる児童・生徒の育成へ→点から線へのつながり・支援）

○教科の学習内容や道徳の授業との関連性を持たせた意図的な指導・支援を行う。各校児童生徒の実態に応じて、学習内容の弾力性を持たせる。

【保護者・地域との連携】

○親の思いを語る場（出産劇での父親、母親や妊婦の話等）へ参加（広報・呼びかけ）

○「いのちのふれあい講座」通信の発行、保護者向け「いのちの教育」講座の実施の計画

※各講座における支援団体の協力◆PTA・母親委員会 ◆下呂温泉病院及び市内外在住助産師

◆市内乳幼児・幼児学級◆下呂市いのちのふれあい講座サポートスタッフ